

平成十七年度

# ふるさと上越ネットワーク 総会開催

五月二十八日、アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区九段）において会員七十四人の参加を得て平成十七年度ふるさと上越ネットワーク総会が開催されました。

太田会長の挨拶、伊藤収入役の挨拶を戴きました。太田会長の議長のもと、平成十六年度の事業報告、決算報告、平成十七年度の事業計画、予算、規約の改正、役員改正の六議案を審議され、いずれも承認されました。



上越市野澤企画政策課長の活動報告



水崎監事の監査報告



司会の小野塚運営委員



和久井新会長挨拶

# 会長挨拶

Jネット会長

## 太田四郎

(本町五丁目出身)

本日は、ご多忙の中平成十七年度総会のためにご来賓をはじめ多数の会員の皆様方にご出席いただきありがとうございました。開会にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

昨年は中越大震災をはじめ多くの台風など自然災害に悩まされた年でございました。

今年こそは穏やかな年でありますように年頭に願つておりますが三月の福岡大震災、一ヶ月前の尼崎電車大事故など年が新たまりましても災害がおこり、災害はいつでも起らうるという感じをしたわけでございます。

一方、経済情勢につきましては景気の回復について、先行き明るい感じがでてきたところでございます。それから内外の政治情勢混乱につきましてなかなかつかしい問題が蓄積しているような状態でございますが、そのような中でふるさと上越ネットワークはおかげさまで平成九年設立以来九年を迎えることが出来ました。

この間会員の皆様方のご協力によりまして、文化講演、あるいはふるさと越後大使などの新規事業が定着いたしました。また各事業の内容につきましても充実してまいつたわけでござります。先月「ふるさと交流会」がございまして高田城址の花見に参加したわけでございますが、花見は残念ながら少し早すぎましたが、翌日名立に行きましたが名立に日本一のもぐさ工場がござります。一、三〇〇年前に創建されたという岩屋堂観音堂、鳥ヶ首岬灯台から眺める日本海の絶景、なかなかたいしたものだということで名立も新しい上越市のなつたわけでございますが、非常に大きな観光資源がありまして、それをまず交流事業として取り上げたということは企画としても立派だなと感じた次第でございます。

三浦部長のふるさと、それから理事の下山さんふるさとでございますが、海岸沿いのさびれた日本海の漁港ですが、まわってみますとこん

なにいとこがたくさんあるのでびっくりしました。これから交流事業はいろいろ新しくなった区域をこのようになります。皆様方にふるつてご参加していただいて新上越市のいいところを満喫していただきたいとおもつておるわけでございます。このような事業やつていただいておるわけでございますけど、残念ながら当初一、〇〇〇人超えておりました会員数は年度末には八〇〇人を切るまでに減少してきたということでございまして、今年度の新規事業としては新たに上越市となつた地区的ふるさと会との交流を計画しておりますというわけでございますが、今回の合併を契機といたしまして会員増強についてよろしくご尽力を願いたい。これは毎度お願い申し上げて恐縮でございますがよろしくお願ひしたいと思っております。今日は年に一度の総会・懇親会でございます。このひとときを語らいたい

ながら楽しく過ごしていただきたいと思つております。

最後になりましたが皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



# 来賓挨拶

上越市収入役

# 伊藤 保

な気持ちが後押したことでしよう。今ほど会長さんもふれられましたが、四月の観桜会にお越しいただきました。その頃はまだ寒い日が続いておりまして開花もせずつぼみのままだったのですが郷土料理を味わつていただき幼馴染みと楽しい時間を過ごされましたと聞いております。

私どもはいつお帰りになられても暖かくお迎えできるように心がけているところです。

ご案内のように今年一月一日(100)五年の幕開けをもちまして全国最多の枠組みであります十四市町村が合併いたしました新しい上越市が誕生いたしました。この記念式典を四月にとり行なつたわけですがJネット会員の皆さんからもお越しいただいたということであらためてお礼申し上げます。

今、誰もがばら色の夢を描けるような時代ではありますんが、皆様方の力添えをいただくななく住民本位の力強いまちづくりを実現できればと願つてゐるところです。

「めんくください。今ほどご紹介いたしました上越市収入役の伊藤と申します。お招きいただきました木浦市長ですが、今日は市の主催事業がいくつかはいつておりましてどうしても日程をとることが出来ず、代わりに伺わせていただきました。せつかくの機会ですので、一言ご挨拶させていただきます。

十月には中越大震災では大きな被害がありましたが、上越におきましては幸いなことに何回か大きなゆれを感じましたがそのまま終息いたしました。皆様方のご実家やご親戚の安全を確認されるまで気をもまれたこと思つていています。テレビであるいは新聞で報道されたようになきな被害を被られました旧山古志村でありますが、これは最近長岡市と合併いたしましたが、この山古志村は住んでいた家が壊れ、耕していた農地が流れる、土木の専門家もまだまだ危険な状況で全員帰

今日はふるさと上越ネットワーク総会を開催誠におめでとうございます。そして今程ご挨拶もありましたようにいろいろ毎年活発な事業をされていることに対して頭の下がる思いをしております。こすが昨年の総会から一年経つわけであります。皆様方におかれましてはいろいろの出来事があつたことでしょう。私どももいろいろのことがありました。昨年の

今日はふるさと上越ネットワーク総会におめでとうございます。そして今程ご挨拶もありましたようにいろいろ毎年活発な事業をされていることに対して頭の下がる思いをしております。こすが昨年の総会から一年経つわけであります。皆様方におかれましてはいろいろの出来事があつたことでしょう。私どももいろいろのことがありました。昨年の



しての心のよりどころでありますふるさと上越でありますために私ども一所懸命がんばります。

最後になりましたが、このふるさと上越ネットワークのますますの「発展と本日お集まりの皆様方のご健康と多幸をお迎えできるように心がけているところです。

本日はたいへんありがとうございました。

# 議事と平成十七年度事業内容

の発行・十一月

四 総会等開催事業

(五) イベント情報チラシ、特別賛助会員

(二) ホーリー・ジの充実とリノンの拡大  
からのお知らせなどを送付

(二) ホーリー・ジの充実とリノンの拡大  
・各同窓会、郷人会のHPとネットワーク  
化を図る。

個人でリンクを貼る会員を募集する。

(一) 開催日 平成十七年五月二十八日

(二) 午後二時から

②会場 アルカディア市ヶ谷

③出席者 役員、会員、来賓、市関係

者

④内容 平成十六年度事業・決算報告  
平成十七年度事業計画・予算ほか

(一) 理事会の開催  
親類会、ふるさと寄席

(二) 第九回ふるさと交流会  
九日(土)に觀桜会へ

(一) ~ボートナロ開催  
(二) 東京地区

(一) 開催日 毎月第一水曜日(運営委  
員会開催日)

(二) 会場 運営委員会事務局(株)  
社会貢献研究所内

(三) 参加費 一、〇〇〇円

(一) 平成十六年度会員の継続加入の推進  
・複数年入会会員割引制度による勧誘

(二) 東京地区以外  
① 大阪サロ(十一月予定)  
② 名古屋サロ(九月予定)

(三) その他 各地区での自主開催に対し  
→ネットから一人あたり一、〇〇〇円の  
助成金

(一) 「広報じよせい」の発送・月一回(一  
回、十五日間)

(二) 「ふるさと」の発行・月一回発行  
①参加者 新上越市に關係する会員  
(三) 「ふるさと会報」の発行・年一回発行  
と会員の交流

(四) 「ふるさと万能カード」(〇〇六年版)  
(四) 「ふるさと万能カード」(〇〇六年版)

第六号議案 役員改選

長く会長を勤められた太田四郎さんが相  
談役になり、四人の退任と新任が決りま  
した。

会長 太田四郎 → 和久井博

副会長 今井勇 → 勝島敏明

理事 今井一孝 → 杉田武

理事 福島信之 → 上野益

新上越市の紹介の充実

(一) 「広報じよせい」の発送・月一回(一  
回、十五日間)

(二) 「ふるさと」の発行・月一回発行  
①参加者 新上越市に關係する会員  
(三) 「ふるさと会報」の発行・年一回発行  
と会員の交流

(四) 「ふるさと万能カード」(〇〇六年版)  
(四) 「ふるさと万能カード」(〇〇六年版)

五 ふるさとのまちづくり支援

(一) 各種委員会への参画  
(二) 文化講演会(第一回理事会開催時)  
(三) 「ふるさと越後大使事業

(四) 棚田オーナー事業への参加

議事(六議案承認されました。)

平成十七年度事業計画

一 会員募集事業(目標九〇〇人)

(一) 規会員の募集

・新上越市発足に伴い、各区郷人会等へ  
の積極的働きかけ

・役員、運営委員会の定期的勧誘活動

・高校同窓会の勧誘活動(総会等への出  
席)

(一) 平成十六年度会員の継続加入の推進  
・複数年入会会員割引制度による勧誘

(二) 東京地区以外  
①大阪サロ(十一月予定)  
②名古屋サロ(九月予定)

(三) その他 各地区での自主開催に対し  
→ネットから一人あたり一、〇〇〇円の  
助成金

(一) 「ふるさと」の発行・月一回(一  
回、十五日間)

(二) 「ふるさと」の発行・月一回発行  
①参加者 新上越市に關係する会員  
(三) 「ふるさと会報」の発行・年一回発行  
と会員の交流

(四) 「ふるさと万能カード」(〇〇六年版)  
(四) 「ふるさと万能カード」(〇〇六年版)

第一号議案 平成十六年度事業内容

第二号議案 平成十六年度決算報告

第三号議案 平成十七年度事業計画

第四号議案 規約改正

第五号議案 平成十七年度予算

主な改正点は会員資格「上越市以外」に在  
住「を」上越市出身及び上越にゆかりのあ  
る個人「に」改正

第六号議案 役員改選

長く会長を勤められた太田四郎さんが相  
談役になり、四人の退任と新任が決りま  
した。

会長 太田四郎 → 和久井博

副会長 今井勇 → 勝島敏明

理事 今井一孝 → 杉田武

理事 福島信之 → 上野益

議事(六議案承認されました。)

平成十七年度事業計画

一 会員募集事業(目標九〇〇人)

(一) 規会員の募集

・新上越市発足に伴い、各区郷人会等へ  
の積極的働きかけ

・役員、運営委員会の定期的勧誘活動

・高校同窓会の勧誘活動(総会等への出  
席)

(一) 平成十六年度会員の継続加入の推進  
・複数年入会会員割引制度による勧誘

(二) 東京地区以外  
①大阪サロ(十一月予定)  
②名古屋サロ(九月予定)

(三) その他 各地区での自主開催に対し  
→ネットから一人あたり一、〇〇〇円の  
助成金

(一) 「ふるさと」の発行・月一回(一  
回、十五日間)

(二) 「ふるさと」の発行・月一回発行  
①参加者 新上越市に關係する会員  
(三) 「ふるさと会報」の発行・年一回発行  
と会員の交流

(四) 「ふるさと万能カード」(〇〇六年版)  
(四) 「ふるさと万能カード」(〇〇六年版)

第一号議案 平成十六年度事業内容

第二号議案 平成十六年度決算報告

第三号議案 平成十七年度事業計画

第四号議案 規約改正

第五号議案 平成十七年度予算

主な改正点は会員資格「上越市以外」に在  
住「を」上越市出身及び上越にゆかりのあ  
る個人「に」改正

第六号議案 役員改選

長く会長を勤められた太田四郎さんが相  
談役になり、四人の退任と新任が決りま  
した。

会長 太田四郎 → 和久井博

副会長 今井勇 → 勝島敏明

理事 今井一孝 → 杉田武

理事 福島信之 → 上野益

# 平成17年度 ふるさと上越ネットワーク予算

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

## ■ 収 入

科 目	16 年度決算額	17 年度予算額	差 引 増 減	内 訳
会 費	2,353,000	2,940,000	587,000	・個人会員 @3,000×800人 900人 @2,900×100人 ・特別賛助会員 @50,000×5団体
負 担 金	938,000	1,330,000	392,000	・総会参加者 @5,000×100人 ・文化講演会負担金@5,000×50人 ・ふるさと交流会参加者 @10,000×30人 ・ふるさと上越のつどい@5,000×50人 ・特別賛助会員郵送物負担金@10,000×3
交 付 金	4,000,000	4,000,000	0	・市交付金
繰 越 金	2,004,285	1,404,226	△600,059	
雑 入	98,448	774	△98,674	・預金利子等
合 計	9,394,733	9,675,000	280,267	
複数年入会費預り金	複数年入会員141人(18年度以降)		1,012,100	収入に見込みます別会計として管理

## ■ 支 出

単位:円

科 目	16 年度決算額	17 年度予算額	差 引 増 減	内 訳
広 報 事 業	4,150,402	5,385,000	1,234,598	
会員募集事業	428,729	900,000	471,271	・入会募集チラシ印刷代 250,000 ・会員証印刷 200,000 ・消耗品など 200,000 ・通信運営費(会員登録料など)250,000
				・会報印刷 800,000 ・市庁舎購入(月1回/A4版) 900,000 ・カレンダー印刷 900,000 ・レターヘッド印刷(会報用紙) 85,000 ・封筒印刷 200,000 ・配送料 1,500,000 ・その他 100,000
広報事業	3,721,873	4,485,000	763,327	
交 流 事 業	813,941	1,390,000	576,059	・ふるさと交流会 400,000 ・ふるさと上越のつどい 500,000 ・地方サロン 300,000 ・棚田事業、その他 190,000
ふるさと支援事業	786,304	800,000	13,696	・講演会等事業費 500,000 ・ふるさと大使事業 300,000
総会開催事業	1,087,983	1,100,000	12,087	・理事会、総会開催費 900,000 ・旅費 179,000 ・通信費等 21,000
事 務 費	1,151,927	1,000,000	△151,927	・通信費、手数料、消耗品など 100,000 ・運営委員会事務局費 900,000
繰 越 額	1,404,226	0	△1,404,226	
合 計	9,394,733	9,675,000	280,267	

# ふるさと寄席と懇親会

総会終了後、直江津出身の落語家滝川鯉橋（タキガワリキヨウ）さんのふるさと寄席を楽しみました。鯉橋さんは直江津駅前にあつたラーメン屋「来々軒」出身で、春風亭鯉昇（現滝川鯉昇）に入門、只今は二つ目に昇進、真打ちを目指す三十四才の若手芸人です。

ふるさとの話をまじえた落語的な自己紹介の後、古典落語「とき蕪麦」で笑わせてもらいました。

懇親会会場では各区（田町村）のイベントや美しい風景写真をパネルで紹介致しました。また各区の特産品、美酒も陳列しました。

太田会長の乾杯、相談役榎原家当主榎原政信さんの挨拶で懇親会のスタートです。郷土の美酒とおつまみでの立食パーティです。アトラクションとして全員参加の恒例の抽選会、利き酒コンテスト、

ジャンケン大会などを取り入れました。因みに景品は一等が「くわどり湯ったり村宿泊券」、「天日米こしひかり五キロ」、ふるさとの銘酒など。参加者全員に柿崎区の「おらがまち柿崎生まれの安心漬」と安塚区「春谷（かすや）さんのかきもち」のお土産を用意致しました。

締めは益々元気な最長老野口相談役を囲んで春日山音頭を高々と唄い、来年の再会を約束して解散しました。





